

リスクマネジメント講座

RM-03 医薬品の避妊に係るガイダンス - 薬剤師の役割 2021

AMED研究班「生殖能を有する者に対する医薬品の適正使用に関する情報提供のあり方の研究」(代表：鈴木直 聖マリアンナ産婦人科学教授)では、昨年度末に研究成果物として「**医薬品の投与に関連する避妊の必要性等に関するガイダンス**」をとりまとめました。

本ガイダンスの目的は、性別を問わず生殖可能な患者への医薬品投与による次世代以降に対する発生毒性及び遺伝毒性の潜在的リスクを最小限に抑えるため、投与中及び最終投与後に避妊が推奨される条件及び避妊期間に係る基本的な考え方を示すことです。添付文書上の避妊を規定する際の設定方法及び医療現場における当該情報の解釈の一助となることを期待するものです。

今回は、この研究班に参加されていた元永先生より、ガイダンスを解説していただきます。また研究班に関わった堀口より、説明におけるポイントを話題提供します。

**講師 元永伸也先生 (薬剤師) 国立がんセンター東病院 臨床研究支援部門
研究企画推進部安全管理室長**

話題提供： 堀口逸子 東京理科大学薬学部

日時	2021年8月7日 (土) 14:00~16:00 zoomによる配信
会場及び定員	50名 参加対象：薬剤師、製薬企業、研究者等
受講料	3,000円
受付期間	申込み・入金受付 7月30日 (金) 17:00まで *定員になり次第受付終了
参加申込み方法	1.受講希望の方は以下の申込みサイトからお申し込みください https://www.tus.ac.jp/sccper/seminar/ 2.お申込み後、自動返信メールで受講料振込先等をお知らせします 3.入金確認後、講座実施前日までにメールでZoomのリンク等を送付します *本学学生・大学院生もサイトから申込、学生と明記してください (参加無料)
単位認定	日本薬剤師研修センター研修受講シール1単位配付予定
問い合わせ先	内容については、以下にお問合せください 東京理科大学薬学部 堀口逸子 itsukoh@rs.tus.ac.jp

【申込みに関するお問い合わせ】

東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター (SCCPER) Mail: sccper@admin.tus.ac.jp

*個人情報の取り扱いについて、本学のプライバシーポリシーをご確認いただき、受講申込みをした時点でこれに同意していただいたものとします。個人情報は、本センター講習会の運営に限り使用します。また、今後、本センターから講習などの開催のご案内をさせていただく際に利用することがあります。